

高大連携講座

6月4日（日）10:30～12:00

化学第1実験室にて

「化学反応の舞台を創る」

大阪府立大学大学院 理学研究科 松坂裕之 教授

高大連携講座のひとつが日曜日にありました。大学の先生が高校へ来てくださり、専門分野を高校生向けに分かりやすく講義してくださいました。来てくださったのは大阪府立大学の松坂先生です。テーマは「化学反応の舞台を創る」、化学の分野です。

始めは化学の基本となる周期表から。受講したみんなは授業で既に学んでいる周期表ですが、高校では20番目のCa（カルシウム）までを学ぶことが多いです。しかし、周期表は全部で110個以上の元素が書かれており、数年前に日本でも新しい元素が発見されましたね。松坂先生のご専門は「遷移金属錯体」です。いわゆる貴金属と呼ばれる元素が当てはまりますが、化学の貴金属とはRu, Rh, Pd, Ag, Os, Ir, Pt, Auの8種類を指します（元素の呼び方はぜひ周期表を見てみてください）。

大学で学ぶ話や実際の研究の話を図や写真、例え話などを用いて分かりやすくお話してくださいました。化学を学びたての1年生やまだまだこれからの2年生には知らない言葉も多く、初めて聞くことばかりだったと思いますが、みんな集中して耳を傾けていました。また、化学や実験を通して「筋道を立てて考える」ということ、実験室での注意点など、今でも活用できるお話もあり、良い刺激を与えていただけたと思います。松坂先生、ありがとうございました。

